

平成30年度 社会福祉法人弥生福祉会 事業報告

1、法人目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行った。

- ① 第1種社会福祉事業
特別養護老人ホーム愛寿苑
- ② 第2種社会福祉事業
 - イ. 老人デイサービス事業（愛寿苑デイサービスセンター）
 - ロ. 老人短期入所事業（ショートステイ愛寿苑）
 - ハ. 老人介護支援センター（愛寿苑在宅介護支援センター）
 - ニ. 小規模多機能型居宅介護事業（やよいの里）
 - ホ. 認知症対応型老人共同生活援助事業（やよいの森）
- ③ 老人居宅介護等事業（愛寿苑居宅介護支援センター）
- ④ 福井市基準該当生活介護・自立訓練事業
（愛寿苑デイサービスセンター／やよいの里）
- ⑤ 自主事業
 1. 愛寿苑デイサービスセンター 宿泊サービス
（福井市在宅介護支援事業登録）
 2. ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）
※福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会会員

2、法人方針／スローガン

1. 職員一人ひとりが資源であることを自覚し、お互いが認め合い、学び合って、サービスの向上を図り、地域の利用者の方にとって、私たちにとっても「価値あるサービス」を提供ができる組織を目指した。
2. スローガン『築こう、信頼。安心あるサービス』

3、法人運営

1. 理事会、評議員会等により円滑な法人の運営を図った。

理事会開催	5回	平成30年	5/30、8/16、11/7、11/27
		平成31年	3/26
評議員会開催	4回	平成30年	6/15、8/30、12/19
		平成31年	3/26、
監事会開催	1回	平成30年	5/24
運営協議会	1回	平成31年	3/20
苦情解決第三者委員会	2回	平成30年	6/7、
		平成31年	1/30

2. 各社会福祉事業の円滑な運営を図り、地域老人・障害者福祉の寄与に努めた。

- (1) 特別養護老人ホーム愛寿苑（介護老人福祉施設）
- (2) ショートステイ愛寿苑（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業所）
- (3) 愛寿苑デイサービスセンター
（通所介護・介護予防通所介護事業所／障害者：基準該当生活介護・自立訓練事業）
- (4) 愛寿苑在宅介護支援センター（地域型老人介護支援センター）
- (5) 小規模多機能型居宅介護事業 やよいの里（障害者：基準該当生活介護）
- (6) 認知症対応型老人共同生活援助事業（やよいの森）
（福井市公募により1ユニット増築中、令和元年8月開所予定）
- (7) 愛寿苑居宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）
- (8) 愛寿苑デイサービスセンター宿泊サービス（自主事業）
（福井県在宅介護女性ほっとひといき支援事業登録）
- (9) ふく福くらしサポート事業（生活困難者総合相談・生活支援事業）
※福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会会員

4、法人各事業への取り組み

○事業共通

法人本部・事業所機能の効率化、HP等情報の公表

- ・各事業所による介護保険事務管理の実施。
- ・各事業所にて記録等の介護事務処理を効率的、効果的について検討・実施。
- ・職員の能力、やりがいの向上を目指し、育能給体制（職能給）を実施。
- ・一般事業主行動計画策定
- ・職員福利厚生としてソウェルクラブ活用実施。
- ・職員へ介護福祉士等資格取得支援実施。（介護福祉士4名取得）。
- ・福井県「ふくい介護人材育成宣言事業所」宣言
- ・地域連携、地域貢献への推進。（地域の認知症高齢者支援、認知症サーポーター養成講座等）
- ・職員会議・経営委員会を毎月開催。

○施設介護サービス事業（ショートステイ事業を含む）

- ・虐待防止、身体拘束廃止への取り組み、認知症等の内外部研修によりケアの向上を図った。
- ・介護職・看護職でのケアチーム、多職種協働によるチームケア体制の実施。
- ・介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修受講（介護職2名）。
- ・自治会等地域との連携・協力に務めた。（若杉中自治会参加、普通救命講習、防災訓練等）

○在宅介護サービス等の事業

- ・虐待防止、身体拘束廃止への取り組み、認知症等の内外部研修によりケアの向上を図った。
- ・認知症対応型老人共同生活援助事業（やよいの森1ユニット増築中、令和元年8月開所予定）
- ・地域貢献事業の検討、生活困難者総合相談・生活支援事業実施。
- ・自治会等地域との連携・協力に務めた。（若杉南・緑苑自治会参加、普通救命講習、防災訓練等）